

ミニレポート vol.4 2

就職・会社・仕事に関する若手社員の意識は？



ウチヌノ人事戦略事務所 社会保険労務士 内布 誠

就職・会社・仕事に対する若手社員の意識は？

◆就職活動に欠かせない「インターネット」

社会経済生産性本部と日本経済青年協議会は、今春入社した新入社員を対象に「働くことの意識」に関して行った調査結果を発表しました。

就職活動で利用した情報源（複数回答）については、「インターネットの企業ホームページ」（86%）が「会社説明会」（83%）を初めて上回る結果が出ました。今や、ほとんどの企業が自社のホームページを持っていると思われませんが、そこに掲載されている内容を参考にする学生が大変多くなっているようです。

また、新入社員が就職先を選んだ基準としては、上位から、「自分の能力や個性が活かせるから」（28%）、「仕事が面白いから」（24%）、「技術が覚えられるから」（14%）となっています。これに対して、「会社の将来性」（9%）や「一流会社だから」（5%）といった理由は、以前に比べると大きく落ち込んでいるようです。

◆「働き方は人並みで十分」！？

また、同じ調査によれば、「働き方は人並みで十分」と考えている人は 51.9%（前年比4ポイント増）、

「人並み以上に働きたい」と考える人は 38.5%（前年比 4.3 ポイント減）という結果が出たそうです。

「人並みで十分」と考える人の割合は 1992 年以來の高水準となったそうですが、仕事に対する意欲や熱意の少ない若者が増えているのでしょうか？

◆「取締役にはなりたくない」！？

また、日本経済新聞と NTT レゾナントが、22 歳から 29 歳の若手社員を対象に行ったアンケート調査では、「会社の取締役になりたいですか？」という質問に対し、「なりたくない」と回答した人（65.7%）が「なりたい」と回答した人（34.3）を大きく上回る結果が出たそうです。

「なりたくない」と答えた人の理由（複数回答）としては、「責任を負うのが面倒」（60.8%）、「取締役になる年次まで今の会社にいるつもりはない」（41.0%）、「他人を蹴落としてまで出世したくない」（26.2%）、「株主代表訴訟で負ければ多額の賠償金を払わなければならない」（7.2%）、「社会的なステータスが下がった」（5.4%）などといったことが挙げられていました。

会社内での出世願望、上昇志向を持つ若手社員も、以前に比べると少なくなってきた傾向にあるようです。